

# 関西次世代燃料フォーラムNEXT 2026

～バイオ燃料が橋渡しする次世代燃料への展望～

参加無料

日時

2026年3月10日(火)13:30-17:30

会場

グランフロント大阪北館タワーC 8階

ナレッジキャピタルカンファレンスルーム RoomC07 (大阪市北区大深町3-1)

会場・オンラインの  
ハイブリッド開催

昨年開催された大阪・関西万博では、資源循環を取り入れた未来社会のショーケースとして、次世代燃料分野の取組が展開され、また、関西では国内初の大規模SAF製造プラントが運転を開始しています。

今後も、バイオ燃料、メタネーション、合成燃料など万博レガシーの飛躍が期待される中、次世代燃料を更に進化させる先導エリアとして、関西が果たす役割は大きく、今回のフォーラムでは、2050年カーボンニュートラルに向けた次世代燃料促進への橋渡し役となる『バイオ燃料』の近未来を通じ、関係機関・企業を交えたパネルディスカッションにて、内外動向も含めた多角的な情報をお届けします。

## 【プログラム】

### ➤ 開会の辞 13:30-13:35

近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 部長 鈴木 浄博

### ➤ 講演① 13:40-14:10

「我が国における次世代燃料の導入促進に向けた取組について」

経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 燃料供給基盤整備課 課長 東 哲也

### ➤ 講演② 14:15-14:45

「次世代バイオ燃料生産技術開発動向とNEDOの取組について」

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

再生可能エネルギー部 バイオマスユニット ユニット長 矢野 貴久 氏

### ➤ パネルディスカッション 14:55-16:45

『バイオ燃料が橋渡しする次世代燃料への展望』

<モデレータ>矢野 貴久氏 <パネリスト> 小林 健太郎氏 / 中田 浩一氏 / 越川 裕生氏

○「エネルギートランジションに臨むENEOSの次世代燃料への取り組み」

ENEOS株式会社 次世代燃料部 事業推進グループマネージャー 小林 健太郎 氏

○「カーボンニュートラル社会実現に向けたセルロースエタノール製造への挑戦」

次世代グリーンCO<sub>2</sub>燃料技術研究組合 理事長 中田 浩一 氏

○「バイオ燃料価格低減に向けたサプライチェーンの見える化による価値創造と原料価格制御」

株式会社 レボインターナショナル 炭素源循環推進部 部長 越川 裕生 氏

### ➤ ネットワーキング (燃料資源関連ベンチャー企業紹介・会場名刺交換会) 16:50-17:30

# 「我が国における次世代燃料の導入促進に向けた取組について」

／経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 燃料供給基盤整備課 課長 東 哲也

2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、運輸部門におけるGHG排出量削減は必要不可欠であり、その鍵となるのが、バイオ燃料・合成燃料等をはじめとする次世代燃料です。

自動車、航空機、船舶等モビリティごとに、使用される次世代燃料は異なるため、各種に応じた政策を講じる必要があります。

経済産業省で行っている次世代燃料の導入促進に向けた取組や現状について紹介します。

## 「次世代バイオ燃料生産技術開発動向とNEDOの取組について」

／NEDO 再生可能エネルギー部 バイオマスユニット ユニット長 矢野 貴久 氏

2050年カーボンニュートラルの実現のためには、燃焼しても地球全体のCO<sub>2</sub>を増加させず、化石燃料の代替となる燃料の実用化が鍵になります。国際航空分野では、温暖化対策としてSAF（持続可能な航空燃料）の導入は大きく期待されており、また、幅広いモビリティにおいてもバイオ燃料本格導入促進に向けた取組が活発化しています。NEDOでは、実証を通じた次世代燃料とそのサプライチェーンモデルの構築などを推進しており、その動向と展望について紹介します。

## パネルディスカッション：『バイオ燃料が橋渡しする次世代燃料への展望』

＜モデレータ＞矢野 貴久氏 ＜パネリスト＞ 小林 健太郎氏 ／ 中田 浩一氏 ／ 越川 裕生氏

NEDO再生可能エネルギー部 バイオマスユニット ユニット長 矢野氏をモデレーターに、次世代燃料開発に取組む各社・機関から最新の開発動向についてパネルディスカッション形式にて講演をいただき、次世代燃料社会実装の必要性や開発に取組む内外最新動向について情報発信を行います。

関西においては、SAFの国産商用化に向けた大規模プラントが2025年春に運転を開始し、今後も国の支援を受けた大規模なSAFプラント建設が見込まれています。また、バイオディーゼルにおいては、国内トップクラスの生産拠点を有しており、2025年の大阪・関西万博以降も、次世代燃料促進の取組が推進されています。

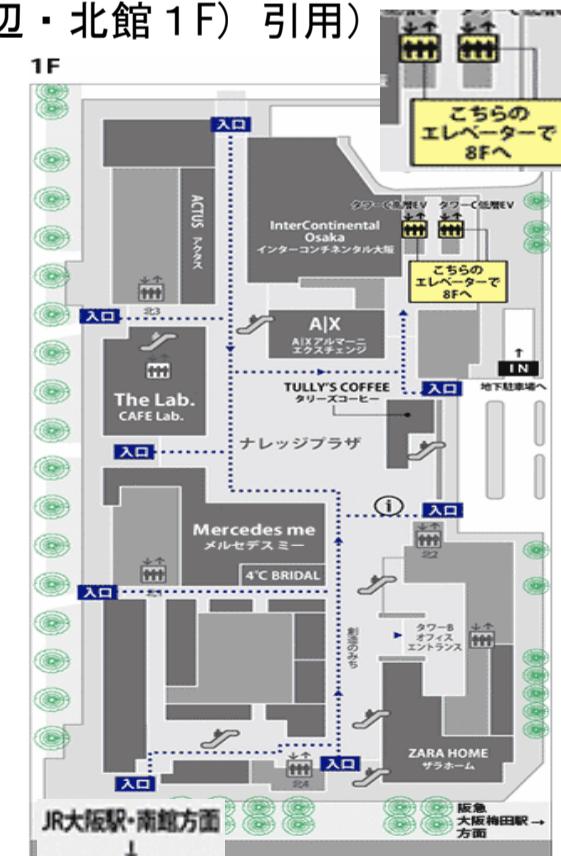
今回のパネルディスカッションでは、バイオ燃料が橋渡しする次世代燃料の近未来・展望について、非化石燃料促進の大変遷期とも言うべき、大阪・関西万博前後年の変遷を振り返りつつ、業界トップランナーの推進プロジェクトの今後の展開を通じて読み解き、また、広く一般に向けて次世代燃料の機運醸成に繋がる興味深い情報を多角的にお届けします。

### 締切

### 会場アクセス・申込み

●会場アクセス（ナレッジキャピタルHP  
アクセス図（北館周辺・北館1F）引用）

2026年3月9日（月）17:00まで  
※定員数に達した場合は締切致します。



### 定員数

会場：80名

オンライン：300名（Teams）

### 主催

近畿経済産業局

### 協力

●申込みフォーム（下記URLからご確認ください。）

(URL) <https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kansai01/form676>

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）（予定）／公益社団法人 石油学会／一般財団法人 カーボンニュートラル燃料技術センター（JPEC）／石油連盟



お問い合わせ：近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 資源・燃料課 担当：高橋、田代

〒540-8535 大阪市中央区大手前1丁目5番44号 大阪合同庁舎1号館

TEL：06-6966-6044 E-mail：bz1-kin-shigenenryo@meti.go.jp